



奈川の人口	
平成 26 年 11 月 1 日現在	
総世帯数	359 世帯
総人口	813 人
男	384 人
女	429 人

発行 奈川公民館  
 発行者 勝山裕康  
 編集者 公民館報編集委員会  
 印刷 (株)プラルト

# 第55回 奈川地区文化祭

11月2・3日、奈川地区文化祭が文化センター夢の森で盛大に開催されました。



子どもたちの屋形太鼓（芸能祭）



あいにくの天気でしたが、たくさんの方にご来場いただきました

農産物優秀賞	保平かぶ	奥原 勝由 (神谷)
	白菜	勝山美智子 (追平)
	花豆	奥原 幸子 (神谷)
	地ささげ	忠地今朝江 (古宿)
	にんじん	小林 甲 (古宿)
	きのこ	斉藤 登 (寄合渡)
	ビッグ(キャベツ)	奥原美喜子 (神谷)

(敬称略)

【協賛団体】 奈川地区町会連合会  
 あづみ農協奈川支所  
 奈川地区福祉ひろば事業推進協議会

通していきませんが、順番と数を間違えないようみな真剣そのものでした。



9月29日、「ビーズアクセサリー講座」を開きました。参加者は13名。夜の講習会ということもあって、最初の針に糸を通すことから一苦労。若い参加者に糸通しをお願いしたり、和気あいあいの雰囲気です。5種類のビーズを凶に従って通していきませんが、順番と数を間違えないようみな真剣そのものでした。

## ビーズアクセサリー講座



10月19日、「木版画講習会」を開催しました。波田地区からの方も含め、小学生から70代の方まで8名が参加。はがき大の小さな作品に取り組みました。慣れない彫刻刀の扱いと、思った以上に細かい作業に、「皆さん、息をしますか？」なんて先生に言われるくらい、集中して彫っていました。最後の色を塗って刷るのは、先生にやっていただきましたが、約4時間で何とか作品に仕上げることができました。先生の付けてくださった色が、また何とも言えない雰囲気のある色で、木版画の持つ温かい感じが伝わる作品となりました。

## 木版画講習会

◆◆第11回秋の大運動会結果◆◆

総合順位	公民館名
優勝	黒川渡・湯の原
準優勝	みより
第3位	古宿

公民館対抗種目	優勝
カムオン	古宿
力を合わせてヨイショ	みより
お父さんの晩酌	みより
いばらの道リレー	黒川渡・湯の原

学校紅白(得点)			
赤	34	白	34

9月13日、秋の大運動会が青空のもとで開催されました。ラジオ体操で体をほぐしてから競技がスタート。小中学生が元気に走る姿に、応援の声が飛んでいました。

そのほか保育園児のダンスや年配者も参加できる太公望など幅広いプログラムがあり、奈川らしい運動会となりました。地区のいろんな顔ぶれに会える場でもある運動会。来年もここで会いましょう!

# 第11回 秋の大運動会

優勝は黒川渡・湯の原公民館

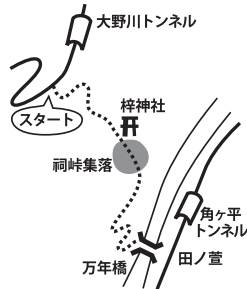


竿で景品を釣る太公望

## 奈川公民館 合同企画

### ほころ 祠峠を歩く

10月8日、地元ガイドの案内のもと、24名で祠峠を歩きました。北は飛騨、南は松本へ続いていた鎌倉街道。その一部として歴史ある道を、大野川から歩き始めます。奈川から大野川トンネルを越えた辺りは数十年前には家が何軒も立ち並び、賑やかな集落だったそうです。現在、祠峠のお社は手入れもなく、崩れた建物もあり、わびしいものでした。近くには廃墟となった祠峠集落があり、集落を越えた奈川側の道は、獣道のように朽ちてしまっていました。奈川渡ダム建設によって変わってしまった道、集落。一つのものゝ崇めて地域を一体化してきた昔に思いを馳せ、現代社会で薄れてしまっている大切な文化について考えるきっかけとなった道歩きでした。



## 野麦路



先日私は、朝っぱらから家族中を大笑いさせた。夢や寝言の内容で笑うことはあっても、あの大笑いはそれらが理由ではなかったため、思い出すたびに吹き出してしまいそうになる。



## 奈川の歴史発見! ④

今回は、石碑の紹介をします。一つ目は、野麦峠まつりで歩く旧野麦街道入口の川浦寄りにある『南無観世音菩薩』の石碑です。文政8年(1825年)建立。当時の野麦峠は旅人にとつて非常に難所で、特に冬季には多くの凍死者が出ていました。

こうした人々を救いたいと、奈川下郷の庄屋永嶋藤左工門が避難小屋をつくりました。この話を聞いた木曾數原の極楽禅師の住職拙庵が功績を称えらるとともに、仏の加護を願つてこの石碑を建てました。

石碑の横には、林照寺前住職高田玄中さんによる訳文の碑と、炭焼き窯を参考に復元された石室もあります。

二つ目は、天宮神社(寄合渡)の境内にある『勝山巖翁顕彰碑』です。大正11年(1922年)建立。碑文の内容

7年程、相棒として尽くしてくれた体重計がついに悲鳴をあげた。これ以上の重労働はとりタイアさせてやり、お手頃価格な新しい相棒を購入。電池を入れ、初期設定を済ませていざ乗ってみると、示された体重の値よりも、あったことすら知らなかった機能



石碑 『勝山巖翁顕彰碑』



石碑 『南無観世音菩薩』

からこの『巖翁』は、明治初期に上郷の庄屋であった勝山喜運治と判明しました。明治改革によって庄屋が廃された後も戸長として大きな功績を遺し、郡、県の役職を務め、奈川では35年に渡り郵便局長を務めた功績により、正八位勲八等瑞宝章を授与されたことが記されています。

※上郷、下郷：奈川村を二つに分け、南側を上郷、北側を下郷としていた。

の数値に目を疑った。実年齢よりも一回りも上の『体年齢52歳』。これにはもう笑うしかなく、この衝撃は一人で抱えるには重すぎると家族に打ち明けた。あれからも私は、52歳をキープ中。52歳ネタで家族が笑わないことはない。(古畑きみよ)